ボーリング柱状図

調　査　名　一般国道183号　設計地質調査業務委託（交通安全）平子

事業・工事名

ボーリングNo	5	2	3	3	2	0	8	7	0	0	1

シートNo

ボーリング名	Bor.No.1	調査位置	庄原市西城町平子		北緯	34° 54’ 40.1”
発注機関	広島県北部建設事務所庄原支所			調査期間	平成 29年 3月 2日 ～ 29年 3月 3日	東経	133° 5’ 54”
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	295.8m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 45°	使用機種	
総掘進長	5.00m								

試錐機	東邦地下工機製 D1-B	ハンマー落下用具	半自動落下
エンジン	ヤンマー製 NFD-12	ポンプ	東邦地下工機製BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	293.85	1.95	1.95		粘土質砂	暗灰	緩い		有機質土主体の表土。竹根が多く侵入する。
2	292.85	1.00	2.95		玉石混り砂礫	褐	中位		粒径不揃いの砂、φ2～30の亜角～亜円礫による砂礫。10cm大程度の玉石を多数混入する。
3	292.60	0.25	3.20		風化礫岩	青灰			風化により土砂状で採取。
4					礫岩	青灰			GL-3.6mより40cm程度の硬質な棒状コアで採取される。水平方向の亀裂が発達しており、亀裂面は礫～岩片状となる。
5	290.80	1.80	5.00						
6									
7									
8									
9									

孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 深度(m)	試験名および結果	試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
	1.15	1／20	3		4／30	4							
	1.45												
	2.15	8	8	9	25／30	25							
	2.45	50／5			50／5								
	3.00					300							
	3.05				50／0								
	4.00	貫入不能											3／2
	4.00				50／0								
	5.00	貫入不能											3／3
	5.00												